

地域密着型金融における大項目毎の取組状況等について(要約)

平成20年4月～平成21年3月

空知商工信用組合

地域密着型金融における大項目毎の取組状況等について(要約) (平成20年4月～平成21年3月)

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

- ・ 各種セミナーの参加、北海道信用保証協会活用における実務者研修会等を通じ創業・新事業支援のノウハウ等の習得に努めました。
- ・ 今後も各種セミナー等に積極的に参加し情報収集及びノウハウ習得に努めるとともに、公的制度の活用強化も含め創業・新事業への支援を図ります。

(2) 経営改善支援

- ・ 平成20年度においては2件ランクアップし、一定の体制が図られております。
- ・ 企業再生支援相談課と営業店ならびに北海道信用保証協会とが一体となり継続してランクアップサポート保証付融資の取組みを行った結果、今期4件を実行し見込み先も徐々に増えており、一定の成果が上がっております。

(3) 事業再生支援

- ・ 営業店臨店を通じ、職員のスキルアップを図りました。
- ・ 今後も継続して、関連セミナー参加及び研修会等を通じ更なるスキルアップや情報収集を行い、事業再生に取り組んでまいります。

(4) 事業承継支援

- ・ セミナーの参加、広報冊子、上部団体からの情報収集を通じ事業承継のノウハウ習得に努めました。
- ・ 今後も各種セミナーの参加及び上部団体からの情報収集を行いノウハウ習得に努めてまいります。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

- ・ 流動資産担保融資については、前年度を上回るペースで取扱しており、融資手法として定着しております。
- ・ 今後も担保・保証に依存しない融資推進策として積極的に活用してまいります。
- ・ 当組合が融資対象とする中小・零細企業においてABL、コベナンツファイナンスを適用できる先は限られておりますが、中小企業の資金調達手法を多様化すべく研究を継続し取扱に繋げられるよう努力してまいります。

(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み

- ・ 銀行業務検定、外部研修、組合内研修、信用格付システムを通じ、事業価値評価のレベルは向上できたものと評価しております。
- ・ 今後、事業価値評価の平準化が課題ですが、これまで以上に信用格付システムを活用し、事業価値評価の向上、平準化を目指し事業価値を見極めた融資の推進を図ってまいります。

3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1)地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

- ・「美唄市中心市街地活性化協議会」のメンバーとなり地域活性化活動に取り組んでいます。
- ・今後も継続して参画するとともに、参画団体の増加に努めてまいります。

(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ・地域活性化に係る意見交換会への参加及び地域行事等の継続した参加・協力を通じ地域社会へのつながりを深めています。
- ・多重債務者問題解決への役割の必要性については、店内会議を通じ意識の向上が図られたものと評価しておりますが、相談機能の発揮まで至っておらず、今後の課題となっております。

4.経営力の強化

(1)コンプライアンス態勢への充実

- ・営業店長会議、店内勉強会及び組合内研修の他、臨店監査及び関係規程類の整備を通じ、法令遵守の意識向上と顧客保護管理態勢の強化に努めています。
- ・今後も内部研修、担当者会議による意識向上と臨店監査による管理態勢の強化に取り組んでまいります。

(2)リスク管理の高度化への対応

- ・SKCセンター利用研修会の参加を通じ、SKCセンターにおける業務機能の習得やALMシステム活用のレベルアップに努めました。
- ・今後も継続して研修・セミナー等へ参加し、知識向上に努め分析資料の改良を図ってまいります。

経営改善支援等に関する取組み実績

(平成20年4月～21年3月の状況)

項 目	目 標	実 績	備 考
経営改善支援への取組み	21先	21先	詳細は下記実績表のとおり
経営改善支援取組先のうち 債務者区分のランクアップ先数	3先	2先	詳細は下記実績表のとおり
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資 (動産・債権譲渡担保融資) 「流動資産担保融資保証制度」の活用	25件	59件	金額 35百万円 なお、個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資への取組として「財務制限条項を活用した商品の融資」、「ノン・リコースローン」等の実績はありません
創業・新事業支援融資実績	-	-	

経営改善支援実績表

期初債務者数 A					経営改善 支援取組 率 / A	ラ ン ク ア ッ プ 率 /	再生計画 策定率 /
うち経営改善支援取組先				のうち再生計画 を策定した先数			
のうち期末に債務者区分がランクアップした先数	のうち期末に債務者区分が変化しなかった先						
4970	21	2	19	19	0.42%	9.5%	90.47%

- (注) 1. 期初債務者数は平成20年4月当初の債務者数です。
2. 債務者数、経営改善支援取組み先数は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。
3. 「(アルファ)のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 (ベータ)」は、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先です。なお、経営改善支援取組み先で途中で完済した債務者は には含みませんが には含んでおりません。
4. 「 のうち期末に債務者区分が変化しなかった先 (ガンマ)」は、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先です。
5. 「 のうち再生計画を策定した先数 (デルタ)」は、 のうち中小企業再生支援協議会の再生計画策定先、RCCの支援決定先、当信組独自の再生計画策定先の合計先数です。
6. 期中に新たに取引を開始した取引先は、本表に含みません。

「地域密着型金融推進状況」(要約)

項 目	取組方針及び取組策	スケジュール		進捗状況
		19年度下期	20年度	20年4月～21年3月
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化				
(1) 身近な情報提供・経営指導・相談				
事業再生	<ul style="list-style-type: none"> 各種関連セミナーの参加及び研修会の実施等を通じ、各種再生手法及び相談機能のレベルアップを図るとともに、中小企業再生支援協議会の事業再生手法の活用を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 上部団体における各種セミナーの参加 組合内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業再生支援協議会活用による事業再生先の選定 上部団体における各種セミナーの参加 組合内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度上期 営業店臨店による指導を実施。(延べ13回) 平成20年6月 北海道信用保証協会の業務部企業支援課とランクアップ対象先について協議しました。 平成20年度下期において、営業店臨店による指導を実施(延べ12回) 平成20年11月 北海道信用保証協会の業務部企業支援課とランクアップ対象先について再度協議しました。
創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> 産学官関連のセミナー及びサポート会議等の参加を通じ、情報収集及びノウハウの習得を図る 中小企業支援センター等の情報を活用し、新規開業等の相談機能等に活用する 信用保証協会の「創業関連保証制度」(再挑戦支援保証を含む)及び公的制度を活用し、創業・新事業への支援を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 産学官関連のセミナー及びサポート会議への参加 中小企業向け経営懇談会等の情報収集と情報提供 各種制度の活用による創業・新事業への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 産学官関連のセミナー及びサポート会議への参加 中小企業向け各種相談窓口、経営懇談会等の情報収集と情報提供 各種制度の活用による創業・新事業への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年7月 平成20年度街中居住再生ファンド説明会に参加 平成20年8月 北海道中小企業応援ファンドに資金拠出 平成20年8月 中小企業広報冊子(創業、新連携、経営革新等)を営業店へ送付 平成20年9月 「地域資源活用」及び「農商工等連携」施策活用普及セミナー参加(中小企業基盤整備機構主催) 平成20年11月 起業家応援ネットワークフォーラム2008参加((財)北海道中小企業総合支援センター主催) 平成20年12月南空知産業クラスター創業研究会参加(南空知産業クラスター創業研究会主催) 平成21年2月 地域密着型金融シンポジウムin北海道～食の高付加価値化と金融機関とのかかわり～参加(北海道財務局主催)
(2) 商工会議所、商工会、中小企業再生支援協議会、他機関との連携				
経営改革支援				
ア. 経営改善及び再生支援先の指導	<ul style="list-style-type: none"> 企業再生支援相談室を中心にランクアップ対象企業(財務上問題、事業の将来性の見通し、再生の実現性が高い企業)を選定し、本部・営業店が一体となって経営改善指導を行なう 	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善指導及び翌期の再生支援先の選定 目標 21先選定 ランクアップ3先 	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善指導 目標 20先選定 ランクアップ3先 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度上期においてランクアップ対象先として21先を選定し、経営改善指導を主体に営業店臨店を13回(延べ33店舗)実施しました。 平成20年度下期において21先をランクアップ対象先として選定し、下期においても経営改善指導を主体に営業店臨店を12回(延べ39店舗)実施しました。

項 目	取組方針及び取組策	スケジュール		進 捗 状 況
		19年度下期	20年度	20年4月～21年3月
イ、各団体との連携による再生支援の強化	・保証協会のランクアップ保証を活用し、経営改善を図る ・各種団体からの経営改革支援及び再生ノウハウの情報入手に努め、活用を検討する	・ランクアップ保証、再生支援資金等による事業再生(取扱目標2件) ・各種団体からの経営改革支援及び再生ノウハウの情報収集	・ランクアップ保証、再生支援資金等による事業再生(取扱目標通期 5件) ・各種団体からの経営改革支援及び再生ノウハウの情報収集	・平成20年7月に北海道信用保証協会のランクアップサポート保証付融資1件を実行しました。 ・平成20年10月以降に北海道信用保証協会のランクアップサポート保証付融資3件を実行しました
	事業承継	・各種セミナー等への参加	・各種セミナー等への参加 ・勉強会等の実施	・平成20年4月 中小企業広報冊子及びガイドブック(事業承継関連、相談・情報提供等)を営業店へ送付 ・平成20年10月 中小企業広報冊子(事業承継関連、中小企業の会計等)を営業店へ送付
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給の徹底(不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み)				
目利き能力の向上、人材育成				
(1) 事業価値を見極める融資	・通信教育、検定試験及び研修により職員のスキルアップを図る ・創業・新事業者に対する目利き能力を強化し審査態勢の強化を図る ・信用格付システムの実施を通じ、職員においては事業価値評価のスキルアップ、組合においては事業価値評価のレベルアップと平準化を図る	・業界団体が主催する研修の受講を進める ・組合内研修会等により、職員のスキルアップを図る ・審査管理部による営業店職員OJT(審査業務)の実施 ・銀行業務検定資格の取得を進める ・中小企業支援スキルの基礎及びその向上を目的とする、通信講座を受講 ・信用格付システムの活用・推進を通じて、事業価値評価のスキルアップを図る	・業界団体が主催する研修の受講を進める ・組合内研修会等により、職員のスキルアップを図る ・審査管理部による営業店職員OJT(審査業務)の実施 ・銀行業務検定資格の取得を進める ・中小企業支援スキルの基礎及びその向上を目的とする、通信講座を受講 ・信用格付システムの活用・推進を通じて、事業価値評価のスキルアップを図る	・平成20年度上期 業界団体が主催する研修講座(2講座)に7人が参加し、目利き能力、審査能力の向上に努めました。 ・平成20年6月 所管部職員が事業価値評価のスキルアップのため企業格付講座を受講しました。 ・平成20年7月～9月 営業店職員の審査部体験研修(審査業務・信用格付業務)を実施(参加者24名)し、事業価値評価のスキルアップを図りました。 ・平成20年度 北海道信用組合協会主催の研修に参加(35人)し、また、銀行業務検定試験(年3回 受験者192名 合格者101名)を受験し資格取得を進めスキルアップ向上に努めました。 ・平成21年2月 業界団体が主催する研修講座に出席し、事業価値評価のスキルアップを図りました。
(2) その他中小企業に適した資金供給の徹底	・ABL、コベナンツファイナンスの研究(当組合の顧客の身の丈にあった手法はあるか、顧客の利益につながるか)と資金供給 ・「中小企業の会計指針」適用先への資金供給の研究と実施 ・当組合信用格付システムに基づく資金供給の実施	・ABL、コベナンツファイナンス、中小企業の会計指針、信用格付システムの研究 流動資産担保融資 取扱目標25件	・「中小企業の会計指針」、信用格付システムに基づくローンの実施 ・ABL、コベナンツファイナンスの研究・試行 流動資産担保融資 取扱目標通期 50件	・平成20年度上期 流動資産担保融資を33件(19百万円)取扱致しました。 ・平成20年度上期 ABL、コベナンツファイナンスについて取扱事例等の情報収集を行いました。 ・平成20年度下期 流動資産担保融資を26件(16百万円)取扱致しました。 ・平成21年2月 業界団体が主催する「商工中金との連携によるABL(流動資産一体担保型融資)研修講座」に出席しました。

項 目	取組方針及び取組策	スケジュール		進 捗 状 況
		19年度下期	20年度	20年4月～21年3月
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献				
(1) 地域活性化につながる多様なサービスの提供				
<p>相談機能を活かした予防策を中心に、目的ローンなども活用した多重債務者問題解決への一定の役割発揮</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体が主催する多重債務者問題解決のセミナー等へ参加し、ノウハウの蓄積を行ない相談業務の向上を図る 保証会社と連携し新商品の検討、開発に取組む 	<ul style="list-style-type: none"> 各種セミナー等への参加 多重債務者問題に係る目的ローンの情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 各種セミナー等への参加 多重債務者問題に係る目的ローンの分析、検討、商品開発 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年9月 「多重債務者相談窓口広報用ポスター」掲示 平成20年9月 各金融機関で取扱している多重債務者問題に係る目的ローンを調査しました。 平成20年10月 「多重債務防止に関する消費者啓発ポスター」掲示
<p>個人・小規模事業者の資金ニーズに対するきめ細やかな対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度アンケート調査及び他行取扱商品の情報を収集し、資金ニーズに対応した商品開発に取組む 資金ニーズに対応できる人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度アンケート調査の分析及び他行取扱商品の情報収集を行ない、資金ニーズにあった商品の検討を行なう 組合内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集を継続して行ない地域の活性化につながる商品の開発 各種ローンの継続的な開発 組合内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年4月 他行取扱商品の情報収集を行い、商品内容の確認を行いました。 平成20年7月～9月 営業店職員の審査部体験研修(審査業務・信用格付業務)を実施(参加者24名)し、事業価値評価のスキルアップを図りました。 平成20年12月 個人向け「フリーローン」の商品リニューアル 平成21年1月 「利用者満足度アンケート調査」を実施。(平成21年2月回収、平成21年3月集計作業開始)
<p>地域・生活に密着した活動を行なっているコミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資、地域社会への貢献・還元</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体との情報交換・セミナー等に参加すると共に各種取組事例も参考とした中で、公的制度等を活用しコミュニティビジネスやNPOに対する融資 地域社会への貢献、還元への取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体との意見交換並びにセミナー等に参加 公的制度の具体的内容を全店に周知する 地域行事等への参加・協力 	<ul style="list-style-type: none"> 各種情報交換・セミナー等に継続参加する コミュニティビジネスやNPOに対する融資 地域行事等への参加・協力 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年5月 「地域経済活性化ビジョン」の中間報告を受けました。(空知支庁主催) 平成20年7月 平成20年度街中居住再生ファンド説明会に参加 平成20年8月 北海道中小企業応援ファンドに資金拠出 平成20年度下半期においても継続して地域行事等に参加・協力しております。 平成20年11月 地域経済活性化関連セミナー参加(北海道国債経済交流会主催)

項 目	取組方針及び取組策	スケジュール		進 捗 状 況
		19年度下期	20年度	20年4月～21年3月
(2)地域の面的再生	・地域の活性化に取組む諸団体へ参画を行なう	・商工会議所や地公体を通じ、地域の活性化に取組む諸団体を調査する	・参画の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年4月～平成20年9月「美唄市中心市街地活性化協議会」へ参画(小委員会2回、準備委員会2回参加) ・平成20年4月～平成20年9月「美唄新産業創造研究会」へ参画(例会2回、総会2回参加) ・平成20年5月「地域経済活性化ビジョン」の中間報告を受けました。(空知支庁主催) ・平成20年10月～平成21年3月「美唄市中心市街地活性化協議会」へ参画(準備委員会1回参加) ・平成20年10月～平成21年3月「美唄新産業創造研究会」へ参画(例会3回参加)
4. 経営力の強化				
(1)コンプライアンス態勢の充実				
コンプライアンス遵守状況の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスに関するモニタリングの徹底を図る ・コンプライアンスに対する意識の向上を図ることとして、毎月実施している勉強会の充実を図り、法令遵守等に対する認識の強化を図る ・担当部・担当理事・監査部・常勤監事による臨店検証を実施 ・コンプライアンス担当者会議を開催し、各店の情報交換を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンプライアンスに関する自己申告チェックリスト」及び「コンプライアンス担当者の法令遵守状況のチェック表」に基づき年2回モニタリングを行なう ・コンプライアンス勉強会を毎月1回以上開催 ・担当部・担当理事・監査部・常勤監事による臨店検証を実施 ・コンプライアンス担当者会議を開催し、各店の情報交換を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンプライアンスに関する自己申告チェックリスト」及び「コンプライアンス担当者の法令遵守状況のチェック表」に基づき年2回モニタリングを行なう ・コンプライアンス勉強会を毎月1回以上開催 ・担当部・担当理事・監査部・常勤監事による臨店検証を実施 ・コンプライアンス担当者会議を開催し、各店の情報交換を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度上期 本部各部及び全店において、毎月1回以上のコンプライアンスに係る勉強会を実施しました。 ・平成20年度上期 コンプライアンス担当部による臨店点検を実施するとともに、監査部・常勤監事による検証を実施しました。 ・平成20年5月開催の理事会において、コンプライアンス推進計画の策定並びに推進状況の確認を実施しました。 ・平成20年5月末現在にて、コンプライアンスに係る各チェックリストに基づきモニタリングを行いました。 ・平成20年度7月実施の営業店長会議において、苦情・トラブルの実態分析及び振り込め詐欺の実態と未然棒について徹底を図りました。 ・平成20年9月にコンプライアンス担当者会議を実施し、情報交換及び苦情・トラブルの実態分析を行い、また、コンプライアンス・プログラムの推進及び個人情報管理並びに振り込め詐欺の実態と未然防止について徹底を図りました。 ・「苦情対応マニュアル」の一部改正を行いました

項 目	取組方針及び取組策	スケジュール		進 捗 状 況
		19年度下期	20年度	20年4月～21年3月
顧客保護管理態勢の強化	・顧客情報の漏洩、滅失の防止、顧客データの安全管理措置の強化に努める	・個人データ管理台帳の整備、管理状況の点検及び検証体制の強化を図る ・保存期間経過書類の廃棄を行なう	・関連諸規程の見直しを行なう ・個人データ管理台帳の整備、管理状況の点検及び検証体制の強化を図る ・保存期間経過書類の廃棄を行なう	・平成20年9月のコンプライアンス担当者会議において個人情報管理の徹底について指示しました。 ・平成20年10月、11月に保存期間経過書類の廃棄を実施する予定です。 ・平成20年10月、11月に保存期間経過書類の廃棄を実施しました。 ・平成21年1月末現在で個人データ管理台帳の見直しを実施しました。
(2)リスク管理の高度化への対応	・SKCシステムによるALMの高度利用により、総合リスク管理の確立を目指す	・SKCALMシステムの高度利用に向けた研修、セミナー等への参加	・SKCALMシステムの高度利用に向けた研修、セミナー等への参加	・平成20年7月 SKCセンター機能活用研修会参加 ・平成20年7月 リスク管理セミナー参加(新生銀行主催) ・平成20年10月 SKC - ALMシステム説明会参加 ・平成21年2月 北海道地区SKCセンター利用研究会参加
(3)ガバナンスの強化	・ディスクロージャー誌・ホームページによる総代会の仕組・機能についての情報開示をするとともに、役員の間合員訪問活動を通じ、ガバナンスの向上を図る	・役員の間合員訪問活動を通じ、ガバナンスの向上を図る	・ディスクロージャー誌・ホームページによる総代会の仕組・機能についての情報開示 ・役員の間合員訪問活動を通じ、ガバナンスの向上を図る	・2008年版ディスクロージャー誌に総代の仕組・機能及び総代名簿について情報公開をしました。また、ホームページに総代の仕組・機能についての情報を公開しました。 ・役員による主要間合員への訪問活動を実施(平成20年9月)しました。 ・役員による主要間合員への訪問活動を実施(平成20年12月)
5. 地域の利用者の利便性向上				
(1)地域貢献等に関する情報開示	・利用者の目線に立った分かりやすい情報開示に努める ・開示内容の充実を図る	・地域経済の動向の開示を引き続き行なう ・ホームページの内容の見直しを行なう	・地域経済の動向の開示を引き続き行なう ・ホームページの内容の充実を図る	・平成20年7月 事業決算のディスクロ誌をホームページにて公表し、併せて地域貢献等についても公表致しました。 ・平成20年11月 半期のディスクロ誌をホームページにて公表し、併せて地域貢献等についても公表致しました。 ・平成20年12月 営業地区における人口・産業状況等の統計資料を更新し、ホームページにて公表致しました。

項 目	取組方針及び取組策	スケジュール		進 捗 状 況
		19年度下期	20年度	20年4月～21年3月
(2) 組合員等の意見・ニーズを経営改善につなげる態勢の強化 (地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立)	・利用者満足度アンケートを実施し、営業施策に反映する	・利用者満足度アンケートの実施	・利用者満足度アンケート結果に基づく営業施策の実施 ・利用者満足度アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年5月 平成19年度に実施した「利用者満足度アンケート調査」結果に基づき「ATMの機能追加・時間延長」、「接遇」の改善を項目に掲げ上半期において取組み致しました。 ・平成20年5月 セブン銀行との24時間CD提携開始 ・平成20年7月 ATMによる定期預金受入機能追加 ・平成20年10月 平成19年度に実施した「利用者満足度アンケート調査」結果に基づき「ATMの機能追加・時間延長」、「接遇」の改善を項目に掲げ下半期において取組み致しました。 ・平成20年11月 総務部主催で接遇研修を開催 ・平成21年1月 接遇セミナー参加 ・平成21年1月 ATMによる「ゆうちょ銀行」への振込開始
(3) 進捗状況の公表	・ディスクロージャー誌・ホームページの内容の充実と利用者に分かりやすい開示を目指す	・半期毎の開示を継続実施	・半期毎の開示を継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年5月 「地域密着型金融推進計画」(平成19年4月～平成20年3月)の推進結果(要約版)について店頭及びホームページにて公表致しました。 ・平成20年7月 事業決算のディスクロ誌を店頭及びホームページにて公表致しました。 ・平成20年11月 半期のディスクロ誌を店頭及びホームページにて公表し、併せて地域貢献等についてもディスクロ誌及びホームページにて公表致しました。 ・平成20年11月 「地域密着型金融推進計画」(20年4月～20年)の推進結果(要約版)について店頭及びホームページにて公表致しました。

地域密着型金融推進計画

平成19年10月



空知商工信用組合

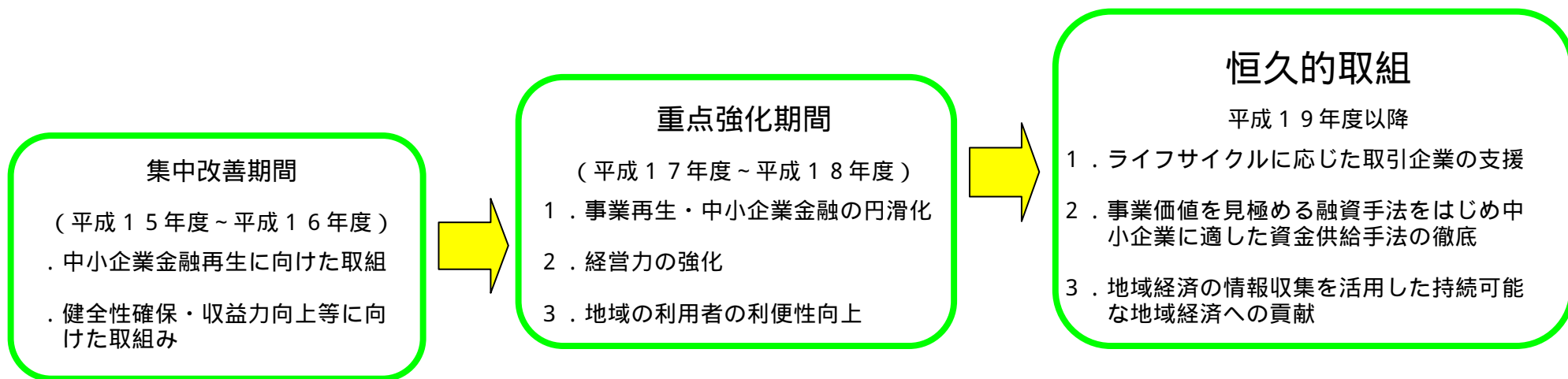
1. 本推進計画の策定にあたって

平成15年度より各2年間に亘り、【集中改善期間】および【重点強化期間】とする地域密着型金融推進計画に取組み、平成18年度をもって終了しましたが、今後は時限的な取組ではなく長期的な事業としての恒久的な取組みが求められているものです。

この二次に亘る推進計画に掲げた諸施策は、概ね計画通りに進捗し、徐々に成果が上がったものと評価しております。

現在の日本経済は着実に回復基調にあるものの、地域間格差、企業規模格差、業種格差は、依然厳しい状況にあります。

このような状況の中で、中小地域金融機関の果たすべき役割は更に高まり、これまでに整備してきた態勢をより強化・充実させるとともに、蓄積したノウハウや研修等の成果を発揮し地域に貢献できるよう推進していくことが重要と考え、今後も「人と人」との繋がりを大切に、地域に根ざした金融機関として、みなさまのお役に立てるよう努力してまいります。



2. 今後の具体的取組みと推進

今後、以下の項目に取組み、地域密着型金融を推進してまいります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 身近な情報提供・経営指導・相談

事業再生

各種関連セミナーの参加及び研修会の実施等を通じ、各種再生手法及び相談機能のレベルアップを図るとともに中小企業再生支援協議会による事業再生手法の活用にも取り組んでまいります。

創業・新事業支援

産学官関連セミナー並びにサポート会議等の参加を通じ、情報収集、ノウハウの習得および中小企業支援センター等の情報の活用を図ります。

信用保証協会の「創業関連保証制度」（再挑戦支援保証を含む）及び公的制度を活用し、創業・新事業への支援を図ります。

(2) 商工会議所、商工会、中小企業再生支援協議会、他機関との連携

経営改革支援

ア 経営改善及び再生支援先の指導

企業再生支援相談室を中心にランクアップ対象企業を選定し、本部・営業店が一体となって経営指導を行います。

イ 各団体との連携による再生支援の強化

保証協会のランクアップ保証を活用し、経営改善を図るとともに各種団体からの経営改革支援及び再生ノウハウの情報入手に努め、活用を検討します。

事業継承

各種団体が主催する事業承継に関するセミナー等に参加し、事業承継のノウハウの習得に努めます。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給の徹底

(不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み)

目利き能力の向上、人材育成

(1) 事業価値を見極める融資

通信教育、検定試験及び研修等を通じ職員のスキルアップを図るとともに目利き能力を向上させ審査態勢の強化を図ってまいります。

(2) その他中小企業に適した資金供給の徹底

流動資産担保融資の活用その他、ABL、コベナンツファイナンス及び「中小企業の会計指針」適用先への資金供給の研究を行います。

3. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献

- (1) 地域活性化につながる多様なサービスの提供
 - 相談機能を活かした予防策を中心に、目的ローンなども活用した多重債務者問題解決への一定の役割発揮
 - 各種団体が主催する多重債務者問題解決のセミナー等へ参加し、ノウハウの蓄積を行ない相談業務の向上を図ります。
 - 個人・小規模事業者の資金ニーズに対するきめ細やかな対応
 - 利用者満足度アンケート調査及び他行取扱商品の情報を収集し、組合内研修等を通じ資金ニーズに対応した人材育成及び商品開発に取組みいたします。
 - 地域・生活に密着した活動を行なっているコミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資、地域社会への貢献・還元
 - 各種団体との情報交換・セミナー等に参加すると共に各種取組事例も参考とした中で、公的制度等を活用しコミュニティビジネスやNPOに対する融資に取組みいたします。
- (2) 地域の面的再生
 - 地域の活性化に取組む諸団体への参画を行ないます。

4. 経営力の強化

- (1) コンプライアンス態勢の充実
 - コンプライアンス遵守状況の点検強化等
 - コンプライアンスに関する担当者会議を開催し、各店の情報交換を行うとともにモニタリングの徹底を図ります。
 - 顧客保護管理態勢の強化
 - 顧客情報の漏洩、滅失の防止、顧客データの安全管理措置の強化に努めます。
- (2) リスク管理の高度化への対応
 - S K CシステムによるA L Mの高度利用により、総合リスク管理の確立を目指します。
- (3) ガバナンスの強化
 - ディスクロージャー誌・ホームページによる総代会の仕組・機能についての情報開示をするとともに、役員組合員訪問活動を通じ、ガバナンスの向上を図ります。

5. 地域の利用者の利便性向上

- (1) 地域貢献等に関する情報開示
 - 利用者の目線に立った分かりやすい情報開示に努めます。
- (2) 組合員等の意見・ニーズを経営改善につなげる態勢の強化（地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立）
 - 利用者満足度アンケートを実施し、営業施策に反映いたします。
- (3) 進捗状況の公表
 - ディスクロージャー誌・ホームページの内容の充実と利用者には分かりやすい開示に努めます。

3 . 目標とする計数 (19年度)

項 目	目 標 計 数
経営改善支援への取組み	21先
経営改善支援によるランクアップ	3先
ランクアップ保証、再生支援資金等の活用	2件
個人保証に過度に依存しない融資への取組み 「流動資産担保融資」の活用	25件

(20年度)

項 目	目 標 計 数
経営改善支援への取組み	20先
経営改善支援取引先のうち 債務者区分ランクアップ先数	3先
ランクアップ保証	5件
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資 (動産・債権譲渡担保融資) 「流動性資産担保融資制度」の活用	50件

平成20年度目標追加(20.5)